

# 『別れのダンス』 寸評

- ・カッチリとした構成がよく実現されている
- ・小曲ながら構築された満足感がたかい
- ・序奏と対比された長い音価のメロディ (m.5～) がこちよい
- ・m.13-15 ベースの半音進行が劇的かつ破局的な結末をつよく示唆
- ・シンプルながらタイトルからもかなしみがたわってくる

## 完成度をさらに上げるために

- ・ m.4 半終止なので左手は属七ではなく属和音のほうがシックリくる
- ・ m.8 b.4 メロディのC#はC#でないと許容できないぶつかり
- ・ m.13 b.2 左手は第3音をかさねず第5音のドにしよう
- ・ m.14 b.2 おなじく左手は第5音のレでもよい
- ・ m.15 b.2 主和音第2転回形だから左手上声はレを
- ・ m.15 左手のラはタイをはずして2回打とう
- ・ m.16 さいごは ~~プラガル終止~~にしてみたい  
ヒロカルディの3度



- ・ m.11 b.3-4 和音が変わってしまうので左手はレソにしよう
- ・ m.12 こども属七でなく属和音のほうがよい
- ・ m.13-15 左手の上声は符尾を上向きにしよう

m.=measure 小節番号のことです。  
b.=beat 拍のことです。

作品構築の手腕がグッとあがりました。  
持麿 勉